

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		観光イベント開催事業					
事業の概要		町内外の方々が本町独自の文化を体験できる機会を提供することで、本町の観光産業の活性化、ひいては地域経済全体の活性化を目指す。 また、本事業による様々なイベントを通じ、本町住民の一体感を醸成するものである。 <YOSANOオータムフェスティバル> 平成19年11月11日実施 <ちりめん街道まるごとミュージアム> 平成19年10月7日実施 <ひまわり15万本> 平成19年8月4日～8月12日開催 <滝の千年ツバキまつり> 平成19年4月15日実施					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	7,585	本年度事業費	7,585	交付金交付額	3,792
事業評価	事業の必要性	町内外の方々が本町独自の文化を体験できる機会を提供することで、本町の観光産業の活性化、ひいては地域経済全体の活性化を目指す。 また、本町は合併して日が浅く、与謝野町としての住民の一体感が不足していることは否めない状況である。本事業による様々なイベントを通じ新町の一体感を醸成に寄与することが求められる。					
	事業の有効性	本町の主要産業であるちりめん産業が長期の低迷状態にあるなか、ちりめん街道等を町外に積極的に周知することで、将来のちりめん産業やその他の地場産業を豊かなものにするための起爆剤としての期待を込めるものである。					
	事業の効率性	地域文化を公開し町外から積極的に誘客を図ることで、観光需要を刺激し地元産業を活性化させ、伝統から未来を拓く産業づくりのきっかけとなる。 また、町民の旧町意識からの脱却を図り新町の一体感を醸成を図ることで、与謝野町としての成熟化に資する。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果 与謝野町の知名度の向上や、観光客数・観光消費額の増加が見込め、町内の観光振興に資するものとなる。					
4 広域的波及成果 本町には本事業で実施したイベントに関わるもの他にも多くの観光資源があり、これらも同時に発信していくことで観光地としての与謝野町の印象を向上させることができる。 同時に、京都の丹後の与謝野町として知名度を向上させることで、丹後一円の観光圏を訪れる方にも効果的に誘致が図れる。							
5 行財政改革に資する成果 実行委員会に管理運営等を委託し、行政の業務負担を軽減させると同時に、可能な限り積極的に職員を動員し、経費の削減に努めている。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。